

笠松町地域公共交通会議 議事概要

日時	令和4年8月2日(火) 13:30~15:00
場所	笠松町役場 4階大会議室
出席の委員	古田会長 山田(健)委員 宮部委員 坂口委員(委任者) 木村委員 山田(忠)委員 松原委員 田島(正)委員 家田委員 富田委員 正村委員 棚橋委員 岩田委員(委任者) 畠平委員 梅田委員(委任者) 川部委員 田島(茂)委員 堀委員 (以上18名)
欠席の委員	なし
議事概要	

① 町長あいさつ

現在運行している、笠松町公共施設巡回町民バスについては、大変好評をいただいている。この町民バスの自家用有償旅客運送者登録証の更新が今年度必要となる。
また、地域が目指す将来像とともに、公共交通の役割を明確化し、方向性を定めるため笠松町地域公共交通計画を今年度中に策定したい。
新しく委員となられた方も多くみえるが、忌憚のないご意見を賜りたい。

② 笠松町の公共交通について

○ [資料1]にて、以下の内容について説明。笠松町地域公共交通計画の策定に向け、地域公共交通の活性化及び再生に関する法律(平成19年法律第59号)の規定に基づく会議としても開催する。また、それに伴い笠松町地域公共交通会議設置要綱を改正した。



③ 議事

【第1号議案】

笠松町公共施設巡回町民バスに係る自家用有償旅客運送者(道路運送法第79条)登録の有効期限満了に伴う登録更新について

○ [資料2]にて、以下の内容について説明。
笠松町の公共交通等について、町内の鉄道網や道路及び民間の路線バス(岐阜バス)、町民バス、タクシー、チョイソコカラタンの路線や区域及び役割を説明。これを踏まえ町民バスの現状と登録証の更新の必要性について説明。

【質問・意見】

- 有効期限については原則3年更新であることを補足説明。
- 各公共交通の現状について
 - ・4月1日から笠松川島線の運行を開始、1便あたり平均5名程度の利用がある。(岐阜バス)
 - ・アクアトぎふが通過点にあるためか土日の利用も多い。利用促進を目的に、岐阜バスの往復乗車券と「アクア・トぎふ」の割引クーポンが一緒になったモバイルチケットを販売し
- 他市町から来る人にとっても便利な公共交通を目指すべき。また、世代間のニーズの違いを把握し世代に応じた公共交通を形成していく必要がある。
- 笠松の未来のため委員一致団結して公共交通を盛り上げていきましょう。
- タウンミーティングで出た要望についての対応はどうか。
→買い物・通院での利用や公共交通空白地帯の解消に向け、デマンドタクシーの運行を開始した。
- 町民バスの乗車率についてはどうか
→相対的な比較は実施していないが、事務局の感覚としては多くの方にご利用いただいている。

- 新型コロナウイルスの影響で町民バスの収支への影響はどうか。
→コロナ禍の前は支出の半分強を利用料や県の補助金及び広告収入でまかっていたが、令和2年度からは支出の半分弱の収入となった。
- 県道沿いのバス停があると思うが、道路占用の許可申請は更新しているか。
→更新している。引き続き漏れのないように事務を進める。
- 道路使用（通行許可）の許可申請は更新しているか。
→更新している。引き続き漏れのないように事務を進める。

【採決】

- 第1号議案…出席委員の全会一致にて原案のとおり可決。
協議が調ったものとして、岐阜運輸支局へ登録証の更新の申請を行う。

[第2号議案]

笠松町地域公共交通計画（案）について

- [資料3]にて、笠松町地域公共交通計画（案）について説明。

【質問・意見】

- 地域公共交通の活性化及び再生に関する法律等の一部改正について補足説明。（岐阜運輸支局）

【採決】

- 第2号議案…出席委員の全会一致にて原案のとおりの方針について可決。
今回の計画素案に対する各委員からの意見と、パブリックコメントによる住民からの意見を反映し、今年度末に再度、この会議に諮り策定する。

④ その他

チョイソコカラタンの現況報告

- [資料4]にて、新委員に対してのチョイソコカラタンの基本的なシステムの説明や、利用状況の近況を運行事業者である㈱トヨタオートモールクリエイトより説明。

定期パス導入について

- [資料5]にて、発行区分・料金区分・割引率・発行方法等の事務局案を説明。
この案をもとに今年度末の定期パス導入に向けて検討を進める方針を了承。